国姓爺合戦（2001）

英雄・鄭成功傳

メディア 映画
ジャンル 歴史劇
製作国 中国／日本
色彩 Color
時間 105分
初公開日 2002/11/02
公開情報 日活

【キャッチコピー】
明から清へ――。
アジアを救った日本の英雄がいた。

【解説】
１７世紀の中国で偉大な功績を残した鄭成功。皇帝の姓を名乗るべき偉人の意味の“国姓爺”と呼ばれ、日本人の女性を母に持つ英雄の物語を、日中合作で壮大に描く。日本では近松門左衛門が同名作を戯曲化。その後幾度も上演され、近世日本文学の代表の１つとなった。監督はベルリン映画祭受賞「晩鐘」のウー・ツーニウ。
１６４４年、清の強勢に圧倒され北京が陥落、明朝は滅びた。それでも強硬に抵抗を続ける明の遺臣の一人・鄭芝龍は、かつて立ち寄った長崎で日本人女性・田川マツと出会い、１６２４年に男の子をもうけていた。その子は福松と名付けられ、８歳時に父と大陸に渡り鄭森と名を変える。やがて勇猛な戦士に成長した鄭森は、北京陥落の翌年、南京で清軍に対抗していた。復明のために台湾を拠点にすることも提案。後に隆武帝から皇帝と同じ姓「朱」を与えられ“国姓爺鄭成功”を名乗ることを許される。その矢先、父、鄭芝龍が清朝に帰順するとの報せが届くのだった。

【クレジット】

監督	ウー・ツーニウ	Wu Ziniu	
製作	リー・ニン	Li Ning	
企画	染野行雄		
製作総指揮	中村雅哉		
脚本	チャン・イーピン		
撮影	イー・フホウラー		
美術	リン・チー		
衣裳	ワン・チュウピン		
音楽	チャン・シャオトン		
テーマ音楽	ウー・ルーチン		
出演	チウ・マンチェク		鄭　成功
	シィ・ミン		隆武帝（皇帝）
	ズゥ・アン		薫氏（鄭の妻）
	トウ・チークオ		鄭芝龍（鄭成功の父）
	ジアン・チンチン	Jiang Qinqin	施良（鄭家の養子）
	島田楊子		田川マツ（鄭成功の母）

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.